

令和7年第2回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議録

令和7年第2回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、令和7年6月30日、14時00分、北小野地区センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
報告第2号 要保護・準要保護生徒の認定について＜非公開＞

4 議事

- 議事第1号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

5 その他

- その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

6 校長報告

7 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤羽 高志
教育長職務代理者	両角 東平
委員	小澤 晃
委員	小幡 洋美
委員	小澤 秀樹

○ 欠席委員

○ 説明のため出席した者

両小野中学校長	富田 章
こども教育部長	百瀬 一典
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹中 康成

○ 事務局職員出席者

学校教育課課長	上條 崇
---------	------

教育施設課長	五味 克敏
学校教育課課長補佐 (児童生徒支援係長)	小松 義宏
学校教育課課長補佐 (教育企画係長)	浅川 忠幸
学校教育課学校運営係長	牧野 令
学校教育課教育企画係 主事	瀧沢 快斗

○ 本日の会議に付した議事

会議日程に記載のとおり

1 開 会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。本日は御多忙のところ、御出席いただきまして誠にありがとうございます。今年ですが、もう西日本は梅雨明けという発表がありました。こちら山沿いには積乱雲がたくさん見えているわけですが、まだ梅雨明けをしていない関東甲信は、7月上旬が梅雨明けだというお話があります。今夏は、長期戦の猛暑になるのかなと、そんなふうに日本中で言われています。

それでは、これより令和7年第2回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、令和7年度の人事異動による新しい職員の紹介を、各自自己紹介をお願いしたいと思います。それでは、お願いします。

浅川学校教育課課長補佐（教育企画係長） 皆さん、こんにちは。4月から異動してまいりました、学校教育課の浅川忠幸と申します。よろしくお願いいたします。

牧野学校教育課学校運営係長 4月に異動してまいりました学校教育課学校運営係の牧野令と申します。よろしくお願いいたします。

赤羽教育長 ありがとうございました。

2 会議録の承認

赤羽教育長 続きまして2番、前回会議録の承認について事務局からお願いいたします。

瀧沢学校教育課教育企画係主事 前回、令和7年第1回教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、そのようにお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 それでは、私から教育長報告をさせていただきます。2点報告させていただきます。

6月の中旬の朝、児童生徒が登校する様子を自分の目で確かめたくて、このたのめの里に出かけました。小野駅前信号機から西に向かってハンドルを切りました。坂道を上がっていくと、五辻の交差点に出たのですが、何かいつもと違うなと思って、舗装面が赤色でカラー舗装されているところがすぐ目に入りました。ドライバーとしては無意識なのですが、赤色を見ると危険というような認識が生まれるのだそうです。この赤い舗装により、ここは特に気をつけて運転して

くださいというメッセージがすぐ私に伝わってきました。この交差点は、道路の見通しが悪い構造になっています。昔からであります。しかも五辻であります。初めてこの五辻を通るドライバーは、交差点の付近であっけにとられて、どうハンドルを切っていいかわからないというところ。そこに、このカラー化された理由があるのかなと。ここ一、二年でできたのではないかと思います。

私もしっかり停止して、全方向を確認してから両小野小学校のほうに向かっていくと、横断歩道に中学年の女の子がちょうど手を挙げているのが分かり、その手前でブレーキをかけて、その子が渡り切るのを見守りました。すると、その女の子は振り向いて、ただ頭を下げるのではなくて、にこっとし、ありがとうという気持ちが伝わってきました。今度は、車を中学校方面に進めていくと、上道はグリーンベルトが両側にありまして、北小野地区の子どもたちは皆、集団登校をしているのですかね。本当に楽しそうに会話しながら、子どもたちは小学校に向かっていきました。

今度は、反対方向に中学に向かっていく、中学1年生なのかな。右側のグリーンベルトを、タブレットの入る新しい通学用のかばんを背負って歩いていきました。山田教頭先生にお聞きますと、今年度から採用されたそうで、3つのサンプルがあって、そこから自分たちで保護者と好きなものを選ぶという。それは自己選択で決めるのだそうです。校章もない、だからリュックの代わりになり、高校になっても、どこかに出かけるときも使える汎用性の高い商品だと聞いています。小学生も中学生も元気に歩く子どもたちの姿を見て、私は安心しました。

2点目です。昨年度の市民タイムス、「ようこそ校長先生」がありまして、そこで富田校長先生は、昨年、「どんな学校運営をしたいか」の問いに対して、「子どもたちが、学校や両小野地区の未来について、皆で夢を語る学校にしたい。本校が取り組むアントレプレナー学習などを通じて、地域を愛する心や自主自立の精神を育みたい」と、来た早々ですが、願いを持って取り組まれていました。あれから1年3か月が経過し、教育長面談もあったのですが、校長先生も手応え感じながら学校運営をされていることが、分かりました。

学校ホームページを見ますと、中体連の夏季大会の壮行会の記事がありました。「いよいよ中体連夏季大会が始まります。3年生にとっては最後の大会です。3年間頑張ってきた思いをぶつけてほしいと思います。フレーフレー両小野中！燃やせ両小野魂！」。

次に、情報モラル講演会がありました。「教育委員会の島津指導主事さんをお呼びし、情報モラル講演会を行いました。演題は『あなたの未来を考えよう～SNSの危険性・健康や学力の影響～』と題してお話をいただきました。SNSは非常に便利な機能があり、多くの情報を瞬時に得られるような仕組みや違う場所の人とつながることができる10年前では考えられないくらい進歩し、私たちの生活を豊かにしてくれています。しかし、光があるところには必ず影ができます。島津先生のお話から、利用するとき、必要に応じて心にブレーキをかけられる人になってほしいと思っています」。このようなコメントなのですが、本当によく考えられていて、適当に企画するわけではなくて、しっかり段取りを組んで準備をして本番に向かっていくなどということを、私、感じ取りました。

私からの報告は以上であります。ここで委員のほうから何か質問とか、あと、学校の様子とか見られて思いなどありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

両角教育長職務代理者 特にありません。

小幡委員 なかなか機会がなくて、まだ学校とか見に行っていないのですけれども、またそういう機会を見つけて行きたいと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。小澤委員はよろしいでしょうか。

小澤委員 はい。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、次に行きたいと思います。

○報告第1号 両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について

赤羽教育長 初めに報告第1号、両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について、事務局から説明をお願いします。

上條学校教育課長 それでは、資料N o. 1、報告第1号の説明をさせていただきます。両小野学園運営協議会委員推薦書が学校より提出され、委員の任命について、教育長専決により決定いたしましたので、報告するものでございます。

教育長専決日は、令和7年4月1日であります。委員の任期につきましては、令和9年3月31日までの2年間、委員の人数は29名でございます。委員報酬につきましては、本市と辰野町で、1人当たり年額3,000円を負担し、任期途中での解任の場合は、任命期間により月割りでお支払いいたします。委員名簿につきましては次の2ページにございますので、併せて御確認をお願いいたします。説明は以上となります。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から質疑、御意見等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みたいと思います。

○報告第2号 要保護・準要保護生徒の認定について＜非公開＞

赤羽教育長 続いて報告第2号、要保護・準要保護生徒の認定について、事務局からお願いいたします。なお、本案件は非公開としたいが、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、傍聴者の関係、よろしくをお願いします。確認しました。事務局から説明をお願いいたします。

＜非公開部分削除＞

4 議事

○議事第1号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

赤羽教育長 続きまして、議事第1号です。県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長 それでは、資料3ページになります。右上に資料N o. 3と書かれている資料になりますが、そちらを御覧ください。

趣旨ですが、長野県教育委員会と塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の任免その他の進退等に関して、了解事項を取り交わすことについて協議するものです。

おめくりいただいて5ページに、了解事項が掲載されておりますので御覧ください。内容につきましては、教職員の任免その他の進退等に関しまして、県教育委員会と市町村教育委員会とが十分連絡を行うこととしております。

6ページ御覧ください。この覚書によって双方適正に行うことを書面で取り交わし実施するものであります。説明は以上となります。

赤羽教育長 説明ありがとうございます。これは今まであまりやってこなかったもので、そのあたり学校教育課長をお願いします。

上條学校教育課長 これまでは、この了解事項につきましては教育長専決で取り交わしてきておりましたけれども、近隣自治体等の定例教育委員会等に諮っているケースが多いということが見られたため、本教育委員会でも、今年度から議事案件として上程させていただきました。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございました。それでは、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、教育委員会の取り交わし等について、承認することとしたいがよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

赤羽教育長 ありがとうございます。次に進みたいと思います。

5 その他

○その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

赤羽教育長 続きまして、その他第1号、塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件についてに入りたいとおもいます。

○議案第1号 教育長の任命について

赤羽教育長 初めに人事案件、議案第1号、教育長の任命について、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長 それでは、こちらの組合議会案件の2ページを御覧ください。議案第1号、教育長の任命について説明させていただきます。

提案理由につきましては、教育長の任命について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

概要でございますが、現教育長、赤羽高志氏が、令和7年7月10日に任期満了となることに伴い、新たに、佐倉俊氏を適任者と認め、任命しようとするものでございます。佐倉氏につきましては、中学校教諭として37年間勤められ、最後の5年間は塩尻市内の中学校長として、塩尻市の学校教育に尽力いただきました。

なお、塩尻市議会5月臨時会において、市議会の同意をいただき、先週になりますが、6月27日から塩尻市教育長に任命されております。なお、略歴書は3ページになりますので、併せて御確認をお願いいたします。説明は以上となります。

赤羽教育長 ありがとうございました。それでは、この議案に対して質疑等ございますでしょうか。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次に進みたいと思います。

○議案第2号 監査委員の選任について

赤羽教育長 初めに人事案件、議案第2号、監査委員の選任について、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長 それでは、同じく資料の5ページを御確認ください。提案理由につきましては、監査委員の選任について、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

概要につきましては、委員の小口直実氏が令和7年5月9日に辞任したことに伴い、新たに、上條元康氏を適任者と認め、選任しようとするものでございます。略歴書につきましては6ページになりますので、御確認をお願いします。説明は以上となります。

赤羽教育長 ありがとうございました。それでは、この議案に対する質疑ございますでしょうか。

それでは、次に進みたいと思います。

○議案第3号 公平委員会委員の選任について

赤羽教育長 続いて、人事案件、議案第3号、公平委員会委員の選任について、事務局から説明をよろしくをお願いします。

上條学校教育課長 それでは、資料の8ページをお願いします。提案理由につきましては、公平委員会委員の選任について、地方公務員法第9条の2第2項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

概要につきましては、委員3人のうち、牛山雅恵氏が、令和7年7月10日に任期満了となることに伴い、再び同氏を適任者と認め、任命しようとするものでございます。略歴書につきましては9ページになりますので、御確認をお願いします。

なお、中学校組合では慣例により、塩尻市の公平委員会委員を、本組合の公平委員会委員として選任させていただいております。説明は以上となります。

赤羽教育長 ありがとうございます。この議案に対して質疑等ございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に進みたいと思います。

6 校長報告

赤羽教育長 6番、校長報告に入ります。富田校長、お願いいたします。

富田両小野中学校長 よろしくをお願いいたします。資料をお配りしてありますので、そちらも御覧になりながらお聞きください。

両小野中学校校長として2年目を迎えました。昨年度につきましては、いろいろな出来事があって、一昨年度からの出来事をやや引きずり気味でスタートしたのですが、子どもたちと先生たちが信頼関係を少しずつ構築しながら学校運営に協力していただいて、保護者の方々もそれを認めていただいてきて、非常にいい雰囲気の中両小野中学校になっているのではないかと思います。

3番のこれまでの活動からということなのですが、アントレプレナー学習、先ほど教育長の話の中にもありましたけれども、総合的な学習の時間で行ってまいりましたが、昨年度までは、縦割り班で行っていました。それを、1年生にも、しっかりと課題を見つけて活動してほしいということから、今年度から学年ごとの活動に切り替えました。

今、1年生はテーマがまだ決まらない班もあったりして、どのような調査活動をしようかなということ考えていますが、3年生は、北小野地区の子どもたちは土真ん中ウォークの実行委員を務めることになり、小野地区の子どもたちははたる議会への提案などの調査活動に取り組んでいます。2年生は、両小野地区のマップ作りをしたいということから、観光や自然、歴史的建造物などの学習を通して、いろいろな方々に活用していただくマップを制作しています。というように、それぞれのクラスの中で分担をしながら、アントレプレナー学習の活動を繰り広げています。

また、生徒会を中心として、夢プロジェクトの活動、そこにあるとおりに行っています。紅葉山の植樹活動ですが、今年も行うことができました。地域美化活動ですが、実は35度を超える日になってしまいまして、これは大変申し訳なかったのですが、各事業所に御理解いただいて、中止とさせていただきました。また後日、秋口にやりたいと思っています。空き缶回収も順調に進んでいます。空き缶の使い道も、また生徒会で考えてくれています。夏休みに、チロルの森でうとう君のグッズ販売と来場者と、うとう君との交流会というのを計画しています。チロルの森の再開に伴って依頼が来ましたので、学校として取り組んでいます。今年から、青少年赤十字活動に参加をするこ

とになりました。2学期始業式の後、加入登録式をして、活動していきたいと思っております。

部活動です。中信地区大会が行われています。現在、野球部は県大会出場を決めました。剣道部は、個人戦で3回戦まで進みましたが、残念ながら、そこで敗退となりました。女子バスケットボール部も合同チームとして出場したのですが、1回戦で敗退。バレーボールも決勝トーナメントに進んだものの、2回戦で惜敗してしまいました。バドミントンは、県大会出場を決めました。水泳は予選会に出場し、自己ベストには及ばないまでも、最後まで力泳することができました。

文化部も、吹奏楽部は、塩尻中との合同ということで今年は活動していますが、日々練習に励んでいます。美術部は、新入部員をたくさん迎え入れることができましたので、今、霧訪祭での作品発表に向けて活動しています。

部活動の今後についてですが、野球部は、今年度の3年生をもって、2年生、1年生がいないので部員がいなくなります。ですので、休部になります。剣道部も、3年生の部員が2人抜けてしまうので、部員が1名となってしまいます。ですので、今は休部も検討中ということで、まだ最終的な判断はしていません。女子バスケット部と女子バレー部は、合同部活で継続ということになります。

5番、生徒に期待することですが、アントレプレナー学習や夢プロジェクトの活動を通して、地域と強く結びつく子、地域を思いやる子、地域の未来を考える子、そのような人間性が育ってくれるとうれしいなと思っております。

4月30日に、小学校、中学校の職員会を行いました。その中で、総合的な学習、小学校のほうも力を入れたいとことですので、そういうところで、9年間を見越した力をどのようにつけていくか、各グループに分かれての一つで話し合っていました。

両小野の学校目標ですけれども、そこにあるとおり、「あたまからだづくり・こころづくり・なかまづくり」ということで、昨年度からそのようにしていますが、その中、具体的ところで、自ら学んで自ら考える生徒、思いやりと感動のある学校生活、友とディスカッションしようということで、コロナでなかなかできなかったことについて力強くやっていこうかなと思っています。

11月に行われる土真ん中ウォークに全校で参加することになっています。それぞれ3年生が中心となって計画を立てていますが、地域が大切にしている活動について学校全体で参加して行って、地域の思いに触れてもらいたいなという願いから、今年から行いました。以上です。今後ともよろしく願いいたします。

赤羽教育長 今、富田校長からありましたが、付け加えるようなことがあったらお願いします。

両角教育長職務代理者 私、女子バスケット部を見ているわけですが、隣には、女子バレー部がやっています。帰るときも、野球部とか剣道部、それから吹奏楽部とか美術部が帰っていくわけですが、帰っていくときの顔つきがある程度やったな、でも、決して時間に遅れることなく、時間がぎりぎりだと走ってきて、ちょうど6時のチャイムというか、音楽が鳴るのですけれども、それが終わるまでに校門を出ればいいということで、部活動で何を学んでいるかとか、それはそれぞれの部活動の内容を学んではいるのだけれども、それにしても、そういうふうに学校の生活をきちんと守った上でやっているという、そういうところが、私はいつもいいなと思って見せてもらっています。みんなすがすがしい顔をして帰っていきます。

昨年、その前あたりまでは、校門の外からなかなか帰ってくれなかったということもあったのですが、最近是一言言うと、「早く帰って勉強しろ」と言う先生もいますが、さっと帰れるようになってきたので、子どもたちは学校生活を満足して帰っているなど、部活動も通してですけれども、そういう感じを受けました。以上です。

小澤晃委員 休部が2つできますよね。この解釈は、もう1年生、2年生がいないということですか。

富田両小野中学校長 部員がいなくなってしまうからです。

小澤晃委員 なくなるということは、入らない子どもたちが出るのかなと思ったのだけれど、そういうことではないですね。

富田両小野中学校長 1年生、2年生が全然入ってくれないので。

小澤晃委員 帰宅部とか、そういう範疇もあるのですか。

富田両小野中学校長 野球については、シニアとか地域のクラブのほうに移行してしまって。結局、今も3年生が3人で練習しているのです。投げて、打って、守って、3人でやっていて。だったら、地域に入って9人で練習したいという、家庭の人の意向が強いです。

小澤晃委員 分かりました。私も、足し算というか算数をやっておかしいなと思ったものでお聞きしたのですけれども。

それから2番目は、裏の2ページの上から2行目の青少年の赤十字活動ですけど、これは今年から。

富田両小野中学校長 そうです。今年から。

小澤晃委員 取り入れた経緯というか、何かそういうのがありますか。両小野小学校では、かつて10年前にありましたよね。大会もあって、研究会みたいなこともやったようなことを記憶しているのだけれども。アンリー・デュナンの肖像画を貼って。今年から。経緯的なものは。

富田両小野中学校長 私的なことも大分入ってしまして、私が青少年赤十字の役員をやっています。その関係で、両小野の活動を見たとき、非常に赤十字の活動に通じる活動をたくさんやっているのです。車椅子を寄附するとか、地域を美化するとか、空き家をなくすとか。気づき、考え、実行するというのが趣旨なのですけど、それがアントレプレナー学習とすごく通じるところがあって、先生方に、入ってやってみないかと言ったら、いいですよと言ってくれたので、入ってもらいました。

小澤晃委員 ありがとうございます。この活動というのは、優しさというか、人を思いやる心というか、お互いのそういうものが分かるものを大事にしてください。大変素晴らしいと思うので、大きく活動を広めてください。

小澤秀樹委員 私も、教育長におっしゃってもらった内容とかに準ずるのですが、子どもたちの挨拶というところに、すごく自分としての意思がありまして、自分の子どもたちにも、猫が通ろうが犬が通ろうが挨拶をしろと。真面目にやってくれた子どもたちが、とある自分の親戚の子が石に向かって「おはようございます」と言っていたのを自分の祖父から聞いたりもしたのですが、自分の子もそうやって結構やってくれたのですが。

両小野小学校の先生なのですが、中学校に行ったときに、部活の終わりとかの挨拶に出くわしたときに、「きをつけ」「はい」、その言葉から自分もびしょになってしまうというような形で、子どもたちがそういうことを、声を大にして行動してくれているということが、すごく感心しましたと。上から言う目線でもないですし、逆に、自分が小学校でクラスを持つ中で、そういうことを教えていけないといけないというところに準じて考えていけないなとおっしゃっていたので、とにかくにも、このたのめと呼ばれるところに対して、少ない人数かもしれませんが、挨拶だとかということから、しっかりと小学校から植え付けていきながら、中学校に臨んでいただきたいと思いますので、また地域と合同でやっていきながらやっていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

赤羽教育長 地域というのは、私もとても大事だと思います。学校だけでやるものでなくて、日常的に挨拶ができればいいのかなと感じて、今聞いていました。

そのほかよろしいでしょうか。校長先生ありがとうございました。

それでは、その他、事務局からありましたらお願いいたします。

瀧沢学校教育課教育企画係主事 本日配付しました、右上にマル秘と赤字で書かれたこちらの資料につきましては、非公開案件資料ですので、この後、回収いたします。机の上に置いたままでお願いいたします。以上です。

赤羽教育長 ありがとうございました。私も校長先生の話聞いていて、夏休みにチロルの森へ、うとう君グッズをやるということなのですが、うとう君は夏休みに強いのかな。ぜひ応援したいなど。木陰に行くと、あそこは涼しいので、うとう君頑張れ。

最後なのですが、私から一言退任の挨拶をさせていただきたいと思います。また議会のほうでもしっかりやりたいと思いますので、よろしくお願いします。

本日の定例教育委員会が、私にとって最後の定例教育委員会となります。6年間にわたりまして、本当にお支えいただきましたこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

この6年間を振り返ると、様々なことがありました。その中でも、前半は新型コロナウイルス流行の対応。これがとても私にとって大きな使命でありました。生徒の安心安全を一番に考え、そして学習を保障していく。どうやっていけばいいのかというのが、本当に模索した日々でございました。これは当然、私一人では実現できない。ここにいらっしゃる教育委員の皆さんをはじめまして、事務局のスタッフの皆さん、学校長、教職員、小学校組合の委員会の皆様、さらには、先ほど言いましたが、地域の皆様に支えられて乗り越えることができました。今では、コロナ禍の中、急速に進んだ1人1台の端末があります。それがすごいスピードで子どもたち、先生方の中に入っていて、今は当たり前のようにオンラインで交流をしたりとか、学校と地域が密に連携した対面による活動と一緒に充実してきているのかなということを感じます。

これからも両小野地区の子どもたちは、両小野地区の大人たち全員で育てるという地域のよさを、引き続きつなげていってほしいなということを強く願っております。簡単ではございますが、以上で、私からの退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

7 閉会

赤羽教育長 それでは、以上で定例教育委員会を閉会といたします。大変お疲れさまでございました。

○ 午後14時30分に閉会する。

以上

塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議規則第17条第2項の規定により署名する。

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員
学校教育課教育企画係